

2019 年度 小委員会活動成果報告

(2020 年 1 月 17 日作成)

小委員会名	福祉施設小委員会	主 査 名：巖 爽 就任年月：2016 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会 (施設計画運営委員会)	委員長名：広田 直之 主 査 名：小篠 隆生
設 置 期 間	2018 年 4 月 ～ 2020 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>少子高齢化、地域の過疎化がさらに進み、人口構造が変容しつつある社会情勢に鑑み、住ストックをいかに維持・更新しながら持続可能なコミュニティ形成を促すかが重要となる。このような状況の中で、地域コミュニティの継続を支える福祉施設のあり方に関する文献研究、事例研究および実践的環境づくり研究を行うことを今期の目的とする。具体的には以下の企画を活動の軸とする。</p> <p>初年度：時系列で制度と施設種別の整理、レビューを行い、先進事例についての情報収集、現場検証を行った。</p> <p>2 年度：初年度の成果を踏まえて、現行施設制度・計画技術・方法論に関する問題点を整理した。</p> <p>3 年度：「地域に向かう福祉施設史編纂 WG」を設置し、①海外の先進事例を整理し、現在の課題、今後の方向性を整理した。また、包括的にコミュニティを支えている地域を選び、横断的に地域に根ざした福祉施設のあり方についての議論を深めた。</p> <p>4 年度：これまでの委員会活動の総括を行い、シンポジウム「地域に向かう福祉施設」を開催した。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：巖爽 幹事：松田雄二、松原茂樹 委員：橋弘志、石垣文、加藤悠介、二井るり子、山田あすか、神吉優美、藤田大輔、古賀政好、古賀誉章、糸山剛、三浦研、谷本裕香子	
設置 WG (WG 名：目的)	<p>「地域社会に向かう福祉施設」編纂 WG</p> <p>小委員会の設置目的の一つは地域コミュニティの継続を支える福祉施設のあり方に関する文献研究と事例研究である。特に 2000 年以降の地域に根ざした福祉施設の動向を把握することに重点が置かれている。本 WG は直属委員会と合同で定期的に研究会を開催しながら意見交換を行い、編纂作業を進めることを目的とする。</p> <p>福祉起点型共生コミュニティ研究 WG</p> <p>福祉起点型共生コミュニティの概念によって地域づくりと医療・介護・生活・就労の基盤再整備の手法の統合的整理、その拠点形成のための計画手法の提言を行う【目的 1】。また、多様な事例のモデル化を通して統一的視点でのデータベースを作成し、website による情報発信など新たな社会実装への手法を構築する【目的 2】。</p>	
2019 年度予算	135,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：無

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	2 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	1. 福祉転用による建築・地域のリノベーション (学芸出版社 2018 年 3 月発行)
講習会	

<p>催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画</p>	<p>シンポジウム 地域に向かう福祉施設 資料名：地域に向かう福祉施設</p> <p style="text-align: right;">参加者数 42 名</p>
<p>大会研究集会</p>	
<p>対外的意見表明・パ ブリックコメント等</p>	
<p>目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)</p>	<p>1. 2000年以降の福祉施設に関する文献、事例研究はほぼ目標通り達成した。 2. シンポジウムの開催を通して、地域に向かう福祉施設の姿を整理することができたが、出版物の刊行までは達成しておらず、次期小委員会の目標とする。</p>
<p>委員会活動の問題点 ・課題</p>	